

10月の植物

タヌキマメ (マメ科)

学名 : *Crotalaria sessiliflora* L.

昨年、我が家の庭の鉢にタヌキマメがひょっこり芽を出した。大事に育てたら9月下旬に見事な花をつけた。花を正面から見ると顎と花との感じから、タヌキの顔に見える。今年はお彼岸の中日に花が咲き出した。朝8時頃、花を見るとまだ開花していなかったが11時頃に開花し、夕方5時ごろ花を閉じた。朝寝坊の植物である。動物の世話は大変だがタヌキマメなら育てられそうだ。

タヌキマメは一年草で生育期間4~10月。原野などに生育する。茎は普通分岐しないで直立し、高さ20~60cm、全体に長い節毛が密生する。我が家の鉢植えのタヌキマメは4本の枝が出て、その先に花をたくさんつけている。葉は互生し、ほとんど無柄、葉身は単葉で広線形~披針形、長さ4~10cm、幅3~10mm、表面は無毛、裏面は光沢のある褐色の毛が密生。花期は7~9月。茎の先に1~10cmの総状花序を出し、青紫色の花を2~20個蜜に着ける。苞は長さ5~8mmで線形。ガクは大形で深く2裂、上側のものはさらに2裂、下側のものは3裂。莢果は長楕円形で無毛。多数の種子を含み、褐色の毛が密生するがくに包まれている。

(文責 小池英毅)



庭の鉢に50cmほどに成長したタヌキマメと花
2020.9.30

参考文献 九州花図鑑 海鳥社, ミニ山野草図鑑 全国農村教育協会, 名前といわれ野の草花図鑑 (下) 巻) 偕成社,
佐賀県植物目録1981, 阿蘇の野の花II 西日本新聞社